

外部評価書

平成21年 2 月 23 日提出

学校名	和歌山市立 東和中 学校			
外部評価実施日	平成 21 年 2 月 20 日			
項目	内 容			
1	教育目標	教育目標は学校・生徒・保護者・地域の実態に照らして適切に設定されている。 目標達成には困難も多いが1小学校1中学校の特性を生かしながら、個に目を向けて指導されることを期待します。		
2	取組の状況に対する意見	開かれた学校	豊かな心	確かな学力
		自治会回覧板で開放月間の行事を地域に知らせている。毎月の学年便りで予定やニュースを公開している。続けるとよい。	人権・同和教育については計画的に進められている。問題行動についてよく把握し、生徒指導が密に行われている。あいさつ運動は自然な感じがよい。	BT学習を行っていて効果を認めている。普段と違う日ということで緊張感がある。
				小中連携
				出授業だけでなく、教員そのものの交流も必要かと思われる。
3	取組の適切さの検証結果に対する意見	合唱コンクールはすばらしいものに仕上げている。学級のまとまりを付けるのに大いに役立っている。	あいさつ運動は1日の人数とか期間について、登校する生徒の立場であいさつを交わしやすい形を考えてみてはどうか。人権・同和教育についてはいっそう取り組んで欲しい。	この態度を日頃の授業に生かせるようにしたい。時間が短いので心に残る教材を用意して欲しい。
				県は中高連携に力を注いでおり、小中連携と矛盾点もある。限度もあるうが中学校としては魅力ある学校づくりを進めて欲しい。
4	次年度向けの改善方法に対する意見	授業公開日はいつと日を指定した方が参加しやすいのではないかと。いつでもどうぞという形は残した上で小学校6年生の保護者にも呼びかけてはどうか。	前向きな取り組みはどんどんやって欲しい。きちんと総括し、よいものは継続、そうでないものは見直す態度で取り組んで欲しい。	他校で朝の読書の取り組みが効果を上げている。研究してみてもどうか。
				PTAも小学校のメンバーがそのまま中学校に来るので活用できるとよい。
5	その他学校経営の改善に関する意見	各分野で目指す生徒像を明らかにしている。ベストを尽くして下さい。生徒からの情報だけでそれがすべてで正しいと思う保護者がありがちだということを押さえておいて下さい。どの取り組みに於いても充分説明責任を果たせるように準備しておいて欲しい。		